

## 地域金融機関向け共同利用型クラウド勘定系サービス「OptBAE2.0」 2026年5月提供開始

～地域金融機関の持続的な成長、決済インフラの安全性向上を支援～

BIPROGY は、地域金融機関向け共同利用型クラウド勘定系サービス「OptBAE<sup>※</sup>（オプトベイ）2.0」を2026年5月から提供開始します。

「OptBAE2.0」は、信用金庫業界初の日本マイクロソフトが提供する Microsoft Azure 上で稼働する利用型サービスです。業務を効率化する機能群の拡充や API の拡充、BCP 高度化機能を順次提供予定です。

本サービスは、朝日信用金庫、京都信用金庫から、次期勘定系システムとして採用決定を受けており、朝日信用金庫は2026年5月、京都信用金庫は2027年1月に本番稼働を予定しています。

BIPROGY が培ってきたクラウドサービスの利用技術により、環境変化に柔軟に対応した新サービスの提供、基盤更改イベントからの解放による IT リソースの戦略領域シフト、さらに BCP 機能の強化で地域のお客さまの決済インフラの安全性向上に寄与します。

※banking system service Optimizing cost structure and as a Business Assist Engine version2.0

### 【背景】

近年、地域金融機関は、少子高齢化や人口流出、事業承継、労働力確保など、地域の課題に対応するため、自社内 DX 推進や地域のお客さまの利便性向上に貢献するサービス拡充などの活動を継続的に行う必要があります。しかしながら、地域金融機関が抱える従来の勘定系システム基盤は、数年に一度のハードウェア更改において多くの人的負荷が発生するほか、システム凍結期間が伴うことにより、業務改善やお客さまへの新しいサービス提供・拡大が阻まれるなどの課題を抱えています。

### 【概要】

「OptBAE」は、金融機関の自社戦略や地域課題に必要な機能の選択や、独自オプションにも対応できるサービス利用型勘定系サービスです。地域金融機関の IT 人材リソースをより戦略領域に活用できるサステナブルなサービスとするために、新たなシステム基盤として Microsoft Azure を採用し、新サービス提供の柔軟性、ハードウェア更改イベントからの解放、BCP 機能の高度化により、地域経済の心臓とも言える決済インフラの安全性を高めるサービスを提供します。「OptBAE2.0」は、金融機関独自の顧客価値を実現するメニューを提供し、地域経済を支える地域金融機関の持続的な成長とコスト最適化を支援します。

### 【「OptBAE2.0」導入により期待される効果】

#### 1. 進化を止めない安全性の高いシステム基盤

クラウドを採用することで、従来、定期的にハードウェアのサポート停止に伴うシステム基盤更改イベントが発生し、作業に要していたリソースやシステム凍結期間が不要となる事で、IT リソースの戦略シフト、持続的な進化が可能になります。また、大規模被災時は Microsoft Azure の東西リージョンを活用した自動切替が可能となり、止まることのないバンキングサービスを実現し、地域の決済インフラを支えます。

## 2. IT 人材リソースの課題を解決するサステナブルなクラウドサービス

地域金融機関は、DX に対する重要性や迅速な対応が求められる中、自社 IT 人材リソースの継続的な確保に課題を抱えています。「OptBAE2.0」はこれらの課題に対し、共同化によるコストメリットを提供するとともに、他の利用金融機関の先進的なサービスをオプションとして利用することができ、自社 IT 人材リソースに依存することなく、持続的に業務改善やお客さまへのサービス拡大が可能となります。

## 3. ペーパーレスの促進

営業店づくり支援サービス「COCOMFY (ココンフィ)」の営業店タブレット取引を活用することにより、営業店事務の電子化・ペーパーレス化を推進することが可能となります。「COCOMFY」は、各種手続きをノーコードで開発することができる機能を提供しており、金融機関の独自事務や情報の追加などを柔軟かつ迅速に対応することができます。

## 4. 金融機関同士の交流と知見の流通

ユーザー会を通じて、利用金融機関と機能強化・成長を議論することにより、金融機関が求めるサービス・機能をいち早く実現します。また、利用金融機関間のノウハウの共有や開発知財の流通、情報系システムの共同開発など、利用金融機関間における業務効率化の可能性を広げます。

## 5. データ利活用の促進

さまざまな取引を API で公開しているため、サブシステムや他のクラウドサービスとの連携が容易となります。また、「OptBAE2.0」は、オンライン元帳情報を提供する機能を備えており、他の情報系システムから実時間に近い情報が参照可能です。これにより、各種情報系システムでのデータ利活用の幅が広がるとともに、新規機能を安全に開発することができます。

### 【今後の取り組み】

移行期間中の金融機関を含む、既存のお客さま 12 金融機関に対しては、順次「OptBAE2.0」への移行を支援していきます。

今後、「OptBAE2.0」は「OptBAE」をさらに進化させ、地域金融機関のコスト最適化を実現するデジタル化を推進するとともに、デジタルとリアルを融合させた顧客接点の変革など、地域金融機関の営業力強化を支援し続けます。

以上

### ■ 関連リンク

- ・ 地域金融機関向け共同利用型勘定系サービス OptBAE  
<https://www.biprogy.com/solution/service/optbae.html>
- ・ 地域金融機関向け営業店づくり支援サービス COCOMFY  
<https://www.biprogy.com/solution/service/cocomfy.html>

※OptBAE、COCOMFY は、BIPROGY 株式会社の登録商標です。

※その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載の情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ>

[https://www.biprogy.com/newsrelease\\_contact/](https://www.biprogy.com/newsrelease_contact/)